

平成24年度 自 己 評 価 表

鳥取県立鳥取商業高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	保護者・地域と連携し、望ましい職業観・勤労観を身につけ、知・徳・体のバランスのとれた、次代を担う若者を育てる	今年度の 重点目標	①鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける ②望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現を目指し努力する ③健康に留意し、学力向上と部活動に励む ④社会人及びビジネス社会に必要な力を身につける
-------------------	--	--------------	---

年 度 当 初					評 価 結 果 （ 3 ）月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1. 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける	(自覚と誇り) ・明るい笑顔と気持ちの良い挨拶ができる。 ・校内、校外ともに正しい身だしなみが保たれている。	・ほとんどの生徒が挨拶の励行と正しい身だしなみを定着させている。 ・気持ちの良い笑顔や自発的な挨拶をより一層定着させたい。	・明るい笑顔で挨拶ができ、落ち着いた学校生活を送ることができている。 ・遅刻、欠席がなく目的意識を持って意欲的に登校している。無遅刻の生徒が80％以上。 ・校外においても正しい身だしなみが保て、地域からの信頼や評価も高い。 ・学校行事や全校集会で規律ある行動が取れ、校歌を大きな声で歌うことができる。 ・生徒会活動や委員会活動が活発であり、生徒個々の集団活動に対する参加意識や貢献意欲が高い。 ・生活指導に対する保護者の理解が高く、連携した指導体制が確立されている。	・職員、生徒会生徒、部活動が連携した挨拶運動を継続する。 ・授業の始まり終わりの挨拶を大切にし、より一層けじめのある授業展開を図る。 ・生徒にとって見守られ感と安心感を感じる指導に努める。 ・学校行事や全校集会を職員と生徒が一体となって行動、実施する。 ・意欲低下や悩みを抱える生徒には担任、生活指導、教育相談が連携し早急な家庭連絡と相互理解を図る。	・規範意識が高く、ほとんどの生徒が正しい身だしなみと規律ある行動をとることができ、鳥商生としての自覚が定着している。 ・生徒会活動や学校行事に対し全生徒が積極的に参加し、生徒自らの主体的な活動や運営がなされている。 ・無遅刻生徒が66％に止まった。 ・全校集会での校歌を大きな声で歌うことができない。 ・元気な挨拶が返せない生徒や一部に安易な意識の生徒があった。	A	・生徒会新執行部が挨拶運動に積極的に参加している。これまでの取組や良き伝統を生徒自らが継承していくよう指導する。 ・全校集会や式典での集合整列をより意識的に質を高める。 ・日常での挨拶やマナー、授業の開始と終了におけるけじめなど、より意識を高めて指導する。 ・Q－Uを活用し生徒理解をより一層深める。 ・生活指導に対する保護者の理解と協力を得、さらに連携を深める。
	(自ら考え、判断、行動) ・規律ある行動が取れる。 ・規範意識、人権意識が高く、周囲や集団に対する寄与的行動が取れる。	・遅刻欠席は少なく、時間も概ね守れている。 ・生徒会活動や委員会活動が活発化してきている。 ・意欲の低下や悩みを抱える生徒も一部ある。	・社会生活を視野に入れた進路選択が行われており、様々な体験活動への参加や模擬試験、実力試験等への取り組みが活発である。 ・様々な職業資格の取得に努力をし、1級取得率90％、1級3種目取得率40％以上が達成されている。 ・就職内定100％が継続して達成されている。 ・キャリア教育にもとづく目的意識が明確な進学が達成されており、合格率100％である。	・進路指導部、商業科、自己表現力育成委員会が連携し、各プログラムの一体感、連続性のあるプログラムとして完成させる。 ・鳥商デパートを鳥商教育の集大成として継続、発展させていく。 ・進路補習と検定補習の連携を図る。 ・商業高校生としての専門性と、学びを生かそうとする態度を更に伸ばす。 ・普通科科目の実力養成を進め、進路実現の幅と可能性を更に広げる。	・1年生ビジネス体験実習、2年生研修旅行、3年生鳥商デパートなど各学年に応じた職業観、勤労観育成に向けた行事を進めた。 ・就職、進学ともに卒業までにはほぼ100％の合格率を達成した。 ・検定週間を設定し、検定合格へ向けた全体的な意識の向上を図った。3年生の1級取得率87％、3種目以上1級取得率37％(71名、内7種目3名、5種目4名)の高い成果を達成。	B	・1年生ビジネス体験実習、2年生研修旅行、3年生鳥商デパートの充実した実施に向け取り組み、成果を上げる。特に20回目となる鳥商デパートについては、さらなる充実に向けた取組を図る。 ・キャリア意識を高めさせ、就職、進学の決定だけでなく、その後につながる実力養成を図る。
3. 健康に留意し、学力向上と部活動に励む	(職業観、勤労観) ・体験的活動による実践力や応用力の育成が効果的に行われている。	・各学年における体験的活動やキャリア教育に関連する行事や活動は豊富に行われている。 ・各事業の実施を自己表現力育成プログラムとして体系化に取り組んでいる。	・社会生活を視野に入れた進路選択が行われており、様々な体験活動への参加や模擬試験、実力試験等への取り組みが活発である。 ・様々な職業資格の取得に努力をし、1級取得率90％、1級3種目取得率40％以上が達成されている。 ・就職内定100％が継続して達成されている。 ・キャリア教育にもとづく目的意識が明確な進学が達成されており、合格率100％である。	・進路指導部、商業科、自己表現力育成委員会が連携し、各プログラムの一体感、連続性のあるプログラムとして完成させる。 ・鳥商デパートを鳥商教育の集大成として継続、発展させていく。 ・進路補習と検定補習の連携を図る。 ・商業高校生としての専門性と、学びを生かそうとする態度を更に伸ばす。 ・普通科科目の実力養成を進め、進路実現の幅と可能性を更に広げる。	・1年生ビジネス体験実習、2年生研修旅行、3年生鳥商デパートなど各学年に応じた職業観、勤労観育成に向けた行事を進めた。 ・就職、進学ともに卒業までにはほぼ100％の合格率を達成した。 ・検定週間を設定し、検定合格へ向けた全体的な意識の向上を図った。3年生の1級取得率87％、3種目以上1級取得率37％(71名、内7種目3名、5種目4名)の高い成果を達成。	A	・1年生ビジネス体験実習、2年生研修旅行、3年生鳥商デパートの充実した実施に向け取り組み、成果を上げる。特に20回目となる鳥商デパートについては、さらなる充実に向けた取組を図る。 ・キャリア意識を高めさせ、就職、進学の決定だけでなく、その後につながる実力養成を図る。
	(進路実現) ・キャリア教育によって将来の社会生活と職業に結び付く進路選択が行われている。 ・進路に関する模擬試験、実力試験へ積極的に取り組んでいる。	・全商検定1級の複数資格合格に向けて取り組む姿勢が定着している。	・社会生活を視野に入れた進路選択が行われており、様々な体験活動への参加や模擬試験、実力試験等への取り組みが活発である。 ・様々な職業資格の取得に努力をし、1級取得率90％、1級3種目取得率40％以上が達成されている。 ・就職内定100％が継続して達成されている。 ・キャリア教育にもとづく目的意識が明確な進学が達成されており、合格率100％である。	・進路指導部、商業科、自己表現力育成委員会が連携し、各プログラムの一体感、連続性のあるプログラムとして完成させる。 ・鳥商デパートを鳥商教育の集大成として継続、発展させていく。 ・進路補習と検定補習の連携を図る。 ・商業高校生としての専門性と、学びを生かそうとする態度を更に伸ばす。 ・普通科科目の実力養成を進め、進路実現の幅と可能性を更に広げる。	・1年生ビジネス体験実習、2年生研修旅行、3年生鳥商デパートなど各学年に応じた職業観、勤労観育成に向けた行事を進めた。 ・就職、進学ともに卒業までにはほぼ100％の合格率を達成した。 ・検定週間を設定し、検定合格へ向けた全体的な意識の向上を図った。3年生の1級取得率87％、3種目以上1級取得率37％(71名、内7種目3名、5種目4名)の高い成果を達成。	B	・1年生ビジネス体験実習、2年生研修旅行、3年生鳥商デパートの充実した実施に向け取り組み、成果を上げる。特に20回目となる鳥商デパートについては、さらなる充実に向けた取組を図る。 ・キャリア意識を高めさせ、就職、進学の決定だけでなく、その後につながる実力養成を図る。
	(健康に留意) ・食事や睡眠の大切さをよく理解し、規則正しい生活が定着している。	・遅刻や欠席は多くはないが、一部夜更かしなどの不摂生によって体調不良を生じさせる生徒がいる。	・健康や安全に対する意識が高く、食事や睡眠を大切にした規則正しい生活習慣のもとに学校生活を送ることができている。 ・清掃活動や整理整頓が丁寧に行われている。	・食事や睡眠の大切さを啓発する講演会、研修会を継続して実施する。 ・食事や睡眠に対する保護者への啓発も行い、家庭との連携を深める。	・保健だよりの定期的な発行、食事の大切さをテーマにした講演会などを実施。健康管理に関する理解と啓発を行った。	A	・睡眠、食事に引き続き、運動の大切さをテーマにした健康教育講演会を実施する。 ・授業改善、授業力向上研修の成果を授業実践し、生徒の学習意欲と理解度を高める。特に協調学習ジグソー法とケースメソッドに関する研究を発展させる。
4. 社会人及びビジネス社会に必要な力を身につける	(学力向上) ・規律と意欲のある学習態度が保たれている。 ・短時間であっても家庭学習が毎日継続的に積み重ねられている。	・学習に対する意欲は低くはないが、常に受動的であり、家庭学習の定着も乏しい。 ・部活動への関心は高く、多くの生徒が加入し活発に活動されているが、全員の加入には至っていない。	・専門科目と普通科目のバランスを大切にし、継続した学習の積み重ねが行われている。 ・すべての生徒が部活動に参加し、学習と部活動の両立に努力している。 ・各部で優勝を目指した努力が積み重ねられ、知、徳、体のバランスのとれた人格成長の場となっている。 ・各部が切磋琢磨する中で、中国大会以上へ出場する部が10以上、全国大会へ出場する部が5以上となっている。	・授業力向上研修を生かし、生徒にとって学ぶ意欲を向上させる授業改善を進める。 ・予習、復習と検定取得へ向けた継続した家庭学習を定着させる。	・体力向上と集団行動でのマナー向上を目的に強歩大会を復活。 ・学習理論と授業改善に関する職員研修を実施し、他校にも公開。また、商業科教員が県外の3高校と授業実践交流を実施した。 ・入学後の普通科目の学力が伸び悩みの傾向がある。 ・全国大会出場が運動部4、文化部1、商業系4の計9大会の成果を挙げた。	B	・睡眠、食事に引き続き、運動の大切さをテーマにした健康教育講演会を実施する。 ・授業改善、授業力向上研修の成果を授業実践し、生徒の学習意欲と理解度を高める。特に協調学習ジグソー法とケースメソッドに関する研究を発展させる。 ・中高連携、高大連携による授業実践と授業改善を図る。 ・学習と部活動の両立、人間教育を主眼とした部活動を大切に、生徒が切磋琢磨する部活動の活性化を図る。
	(部活動) ・すべての生徒が部活動に加入し、各部で優勝を目指した努力が積み重ねられている。	・遅刻や欠席は多くはないが、一部夜更かしなどの不摂生によって体調不良を生じさせる生徒がいる。	・健康や安全に対する意識が高く、食事や睡眠を大切にした規則正しい生活習慣のもとに学校生活を送ることができている。 ・清掃活動や整理整頓が丁寧に行われている。	・食事や睡眠の大切さを啓発する講演会、研修会を継続して実施する。 ・食事や睡眠に対する保護者への啓発も行い、家庭との連携を深める。	・保健だよりの定期的な発行、食事の大切さをテーマにした講演会などを実施。健康管理に関する理解と啓発を行った。	A	・睡眠、食事に引き続き、運動の大切さをテーマにした健康教育講演会を実施する。 ・授業改善、授業力向上研修の成果を授業実践し、生徒の学習意欲と理解度を高める。特に協調学習ジグソー法とケースメソッドに関する研究を発展させる。 ・中高連携、高大連携による授業実践と授業改善を図る。 ・学習と部活動の両立、人間教育を主眼とした部活動を大切に、生徒が切磋琢磨する部活動の活性化を図る。
	(社会人に必要な力) ・挨拶やマナー、正しい言葉づかいと身だしなみが身についている。	・商業高校生としての自覚に基づく挨拶や身だしなみは概ね良いが、知識、技術を生かそうとする応用力が未熟である。	・専門高校で学ぶ生徒としての誇りを持ち、挨拶やマナー、正しい身だしなみが身についている。 ・社会生活における規範意識、人権意識に基づいた行動をとることができる。 ・知識、技術を生かす行動力や応用力がビジネス実践力として身についている。 ・知識や教養を広げることに意義を見出し、図書館を利用する生徒が多く、年間貸出冊数が7,000冊以上ある。	・学校評議員、学校関係者評価委員、ネットワーク会議などによる外部有識者からの意見、提言を積極的に反映していく。 ・ケーススタディ教育の研修と活用を図り、生徒の応用力、実践力育成につなげる。	・学校評議員、学校関係者評価委員、ネットワーク会議など多くの外部有識者に授業参観を依頼。生徒、職員ともに開かれた学校への意識を高め、有意義な提言を受けることができた。 ・鳥商デパートをはじめ多くの体験や実践を積ませた。 ・自己表現力育成プログラムの新たな取組としてスピーチ月間を実施。「伝える力」の育成を図った。 ・図書貸出冊数が約6,000冊に止まった。	A	・社会からの様々な提言を積極的に受け入れ、ビジネス実践力の育成に努める。 ・鳥商教育の集大成に相応しい鳥商デパートの充実、その他様々な体験的活動を含め、生徒の実践力や応用力の育成を図る。 ・図書準備室の整備と合わせ図書館利用のさらなる推進を図る。 ・各分掌や教科が相互の連携を再確認し、事業単独の成果にとどまらず生徒の社会人としての総合的な成長につなげる。
4. 社会人及びビジネス社会に必要な力を身につける	(ビジネス実践力) ・知識、技術を生かす応用力と実践力が身に付いている。	・おだやかで、基本的なコミュニケーションは良好であるが、社会人としての表現力や知識、教養の吸収には物足りなさがある。	・専門高校で学ぶ生徒としての誇りを持ち、挨拶やマナー、正しい身だしなみが身についている。 ・社会生活における規範意識、人権意識に基づいた行動をとることができる。 ・知識、技術を生かす行動力や応用力がビジネス実践力として身についている。 ・知識や教養を広げることに意義を見出し、図書館を利用する生徒が多く、年間貸出冊数が7,000冊以上ある。	・学校評議員、学校関係者評価委員、ネットワーク会議などによる外部有識者からの意見、提言を積極的に反映していく。 ・ケーススタディ教育の研修と活用を図り、生徒の応用力、実践力育成につなげる。	・学校評議員、学校関係者評価委員、ネットワーク会議など多くの外部有識者に授業参観を依頼。生徒、職員ともに開かれた学校への意識を高め、有意義な提言を受けることができた。 ・鳥商デパートをはじめ多くの体験や実践を積ませた。 ・自己表現力育成プログラムの新たな取組としてスピーチ月間を実施。「伝える力」の育成を図った。 ・図書貸出冊数が約6,000冊に止まった。	B	・社会からの様々な提言を積極的に受け入れ、ビジネス実践力の育成に努める。 ・鳥商教育の集大成に相応しい鳥商デパートの充実、その他様々な体験的活動を含め、生徒の実践力や応用力の育成を図る。 ・図書準備室の整備と合わせ図書館利用のさらなる推進を図る。 ・各分掌や教科が相互の連携を再確認し、事業単独の成果にとどまらず生徒の社会人としての総合的な成長につなげる。
	(自己表現力) ・他者の意見に対する受容性と、自分で考え伝える力を兼ね備えた自己表現力が身に付いている。	・おだやかで、基本的なコミュニケーションは良好であるが、社会人としての表現力や知識、教養の吸収には物足りなさがある。	・専門高校で学ぶ生徒としての誇りを持ち、挨拶やマナー、正しい身だしなみが身についている。 ・社会生活における規範意識、人権意識に基づいた行動をとることができる。 ・知識、技術を生かす行動力や応用力がビジネス実践力として身についている。 ・知識や教養を広げることに意義を見出し、図書館を利用する生徒が多く、年間貸出冊数が7,000冊以上ある。	・学校評議員、学校関係者評価委員、ネットワーク会議などによる外部有識者からの意見、提言を積極的に反映していく。 ・ケーススタディ教育の研修と活用を図り、生徒の応用力、実践力育成につなげる。	・学校評議員、学校関係者評価委員、ネットワーク会議など多くの外部有識者に授業参観を依頼。生徒、職員ともに開かれた学校への意識を高め、有意義な提言を受けることができた。 ・鳥商デパートをはじめ多くの体験や実践を積ませた。 ・自己表現力育成プログラムの新たな取組としてスピーチ月間を実施。「伝える力」の育成を図った。 ・図書貸出冊数が約6,000冊に止まった。	B	・社会からの様々な提言を積極的に受け入れ、ビジネス実践力の育成に努める。 ・鳥商教育の集大成に相応しい鳥商デパートの充実、その他様々な体験的活動を含め、生徒の実践力や応用力の育成を図る。 ・図書準備室の整備と合わせ図書館利用のさらなる推進を図る。 ・各分掌や教科が相互の連携を再確認し、事業単独の成果にとどまらず生徒の社会人としての総合的な成長につなげる。

評価基準 A:十分達成 B:概ね達成 C:変化の兆し D:まだ不十分 E:目標・方策の見直し
[100%] [80%程度] [60%程度] [40%程度] [30%以下]